

## 平成 29 年度 記者懇談会（第 9 回）の記録

- 日 時 平成 29 年 12 月 25 日（月）午後 3 時 30 分  
場 所 水道庁舎 4 階 会議室  
記者数 7 人  
同席者 飯川副市長、天野副市長、総務部長、経済部長、教育部長  
次 第 1 「北の恵み応援フェア 岩見沢」の開催について  
2 証明書のコンビニ交付について  
3 平成 30 年「成人の日記念式典」について  
4 「地デジ広報」の開始について  
5 その他について



## 1 「北の恵みフェア 岩見沢」の開催について

### 説明内容

#### (市長)

今年最後の定例記者懇談会でございます。どうぞよろしくお願いたします。

最初に、「北の恵み応援フェア 岩見沢」の開催でございます。

浅草ビューホテルを拠点にホテル経営を展開している「日本ビューホテル株式会社」が今回、北海道に初進出いたしました「札幌ビューホテル大通公園」として、今年の9月にオープンをいたしました。

ビューホテルでは、北海道の魅力を発信するため、今回の事業を計画されまして、11月、12月は美瑛町、そして今回、第二弾といたしまして、年明け1月1日から2月28日までの2か月間、「岩見沢フェア」を開催することとなりました。

企画内容といたしましては、一階のレストランにおきまして、岩見沢産の食材を使った昼のみのビュッフェを開催いたします。

岩見沢産のお米「ななつぼし」や、小麦「キタノカオリ」を使ったスイーツ、パン、雉肉を使った料理などの他、観光協会が新たに物産品として開発をいたしました、玉ねぎジュエリードレッシングや、白菜うま味ポン酢等も提供される予定でございます。

また、お米やパン等の一部の食材は、ホテルの朝食や夕食にも使用とのことでございます。

また、期間中、地域アピールブースを設けまして、岩見沢市の観光やふるさと納税等をパネルや、パンフレットで紹介する予定でございます。

さらに、札幌雪まつりが2月5日から12日まで開催されるところですが、期間中の後半、2月10日から12日までの3日間、観光協会、JAいわみざわ、消費拡大推進協議会等と連携をいたしまして、「いわみざわマルシェ」を開催いたします。

岩見沢産の素材を使った加工品の試飲、試食、販売や、日本酒の「ゆあみさわ」、宝水ワイン、焼酎の「南粋」等のお酒の試飲販売も行うこととしております。

併せて、道外から来るお客様が多くなりますので、ふるさと納税や、旅行商品の紹介もPRする予定でございます。

さらに、期間中でございますが、岩見沢市民そして岩見沢で勤務される方々を対象に、宿泊料金の特別割引、ランチビュッフェの割引なども実施するということでございます。

札幌圏で昨年度1カ月のロングランで実施をいたしました、大通ビッセでのイベントの第2弾といたしまして、新規進出するホテルとコラボすることは、独自のPRにつながるものと期待しているところでございます。

以上でございます。

## 質疑応答

### (プレス空知)

主催はあくまでもホテル側で、岩見沢は協力ということなんですけれども、市民を対象にした特別割引ですと、市の助成とか、活動支援というか、ホテル側へのそういった公金の支出というのはあるのでしょうか。

### (市長)

ありません。あくまでもコラボですから、観光協会からありません。

### (プレス空知)

市長はこの期間で、実際にフェアの方に足を運んで、何かPRのイベントに参加するという予定はありますか。

### (市長)

今のところ未定です。

### (北海道新聞)

今回、岩見沢が選ばれた経緯というのを教えてください。

### (市長)

これは北洋銀行さんのご紹介です。昨年の大通りビッセでの岩見沢フェアも北洋銀行さんの紹介で実施していますので、その時が大変好評でしたので、それに引き続き岩見沢でというお申し出を受けて実現したところでございます。

### (プレス空知)

市長としてこのフェアの効果というのが、どのような形で波及してくれたらいいなというような期待のコメントがあればいただきたいのですが。

### (市長)

昨年は1か月間でしたけれども、十分に岩見沢の食材を使ったPRにもなりましたし、岩見沢市の観光といった側面でもPRができたかと思えますけれども、それを今回2か月間で、さらにロングランになりますし、ちょうど雪まつりの開催期間中ということで、道外のお客さんもかなり宿泊されると思えますので、そういった意味ではスポットのPRですけれども、効果が高いのではないかとということで期待をしています。

## 2 証明書のコンビニ交付について

## 説明内容

### (市長)

それでは、2点目、「証明書のコンビニ交付」についてでございます。

来年の1月4日から、住民票の写しと印鑑登録証明書を全国のコンビニエンスストアで受け取ることができる、いわゆるコンビニ交付のサービスを始めることとなっております。

マイナンバーカードの電子証明書を利用して、コンビニエンスストアに設置されているマルチコピー機から証明書の申請と交付を行い、全国約53,000店舗、市内44の

店舗で、年末年始、今年でいくと 29 日から 1 月 3 日の休業日を除く午前 6 時 30 分から午後 11 時までの間、証明書を受け取ることができるということでございます。

当市のコンビニ交付サービスの対象となる証明書は、繰り返しになりますが、住民票の写しと印鑑登録証明書の 2 種類ということでございまして、料金は窓口交付と同じ料金でございます。

コンビニ交付の証明書の様式は、窓口交付と同じ様式でございますが、資料の 7 にもお付けしてございますが、「窓口交付とコンビニ交付の相違点」ということで、セキュリティの問題です。窓口交付では、市独自の改ざん防止用紙を使用しておりますが、コンビニ交付では、証明書の表面に「けん制文字」、裏面に「スクランブル画像」を印刷するなどの改ざん防止措置を図ることとしております。

次に、コンビニ交付の実施状況でございますが、全国で 462 の自治体の実施をしており、全道で 9 つの市と町が実施をしているところでございます。

最後になりますが、コンビニ交付では、マイナンバーカードが必要となります。使うのはマイナンバーカードの電子証明書でございますが、ぜひ希望される方には、本庁市民係で写真を撮ってカード申請のお手伝いをするサービスを行っておりますので、この機会にぜひマイナンバーカードの取得を申し込んでいただきますようお願いを申し上げます。

以上です。

## **質疑応答**

### **(プレス空知)**

料金なんですが、窓口交付と同額ということですが、コンビニ交付であれば若干手数料が上乗せされていてもしかるべきなのかなと思ったのですが、同額の意図というのは何かありますか。

### **(市長)**

証明手数料は条例で定めていますので、基本的には同額です。コンビニ交付に当たりましては、コンビニ交付を行う機関に手数料を払うわけですがけれども、その分については、例えば税金等々のコンビニ収納と同じです。それは、こちら側の負担でお支払いをして、払う方の負担は増やさないということでございます。

### **(プレス空知)**

今回、道内 9 市町で行っていて、岩見沢が空知管内で初めてということなんですが、マイナンバーの交付状況でいくと、まだ 10%を切っているという状況の中で、コンビニ交付を始めるというねらいは。

### **(市長)**

それは、圧倒的に市民の方の利便性です。市内でも 44 店舗で、6 時 30 分から午後 11 時までですがけれども、本庁舎あるいは支所、さらにはサービスセンターに行かなくても、住民票と印鑑登録証明書の交付が受けられるということですので、サービス向上の一環として、全国的にもそういう取り組みでございますけれども、システムあるいはデータの使用料等々に、市役所には負担が発生するのですが、利便性を高めていくということでございます。

### **(プレス空知)**

ということでいけば、市民の方にも積極的にマイナンバーカードの交付手続きをお願いしたいということですか。

### **(市長)**

マイナンバーカードの交付を受けることによって、全国のコンビニで交付を受けることができますので、郵送等々で申請をしてきたことが、マイナンバーカードがあれば全国のコンビニで用が足せるという状況になりますので、こういったサービス等もご検討いただきたいということでございます。

### **(プレス空知)**

コンビニ交付のサービスをきっかけに、マイナンバーカードの交付というのも増やしていきたいということですね。

### **(市長)**

もともと、マイナンバーカードに付いている電子証明書というのは、非常にセキュリティの高い証明書になりますので、その機能を生かすということの一環になります。庁舎の1階にもキオスク端末を置きますので、4日からはそこで、窓口で申請しなくてもマイナンバーカードがあれば、その端末で証明書の交付が受けられるということにもなります。

### **(プレス空知)**

市長の思いとして、こういったサービスがマイナンバーカードの交付を受けることで、身近に手軽に利用できるんだよ、だからもっと市民の方に交付申請してねというPRもあるということでしょうか。

### **(市長)**

マイナンバーカードの交付の数を増やそうとしてやっているわけではないので。マイナンバーカードの機能を市民の皆さまへのサービスとして展開するということでございます。

## **3 平成 30 年「成人の日記念式典」について**

### **説明内容**

#### **(市長)**

3点目は、「平成30年成人の日記念式典」についてでございます。

年明けの1月7日、日曜日を予定しております。会場につきましては、前年と同様、イベントホール赤れんがでの開催でございます。

式典の開式時間は、全体を30分繰り上げまして、午後3時30分からということでございます。

来年の岩見沢市の新成人でございますが、12月1日現在の人数で申し上げますと、男性374人、女性361人で合計735の方が、新たに成人式を迎えるということでございます。ちなみに前年と比較いたしますと32人の減というところでございます。

また、式典の開催に当たりましては、JC、二世会、そういった青年団体のほか、新成人が9名、また公募の方3名によります16名の実行委員会を組織いたしまして、企画から運営までを行うこととしております。

記念式典は、例年どおり2部構成といたしてございまして、1部で式典。2部は新成人の交流時間とするところとしております。

1部の式典におきましては、前年と同様に、新成人の決意表明や恩師の方からのお祝いのビデオレターを上映いたしまして、2部は、新成人の交流時間としながら、内容を少し変更いたしまして、ステージ上で抽選会を行うそうでございます。当選者にお菓子等のプレゼントも用意するほか、登壇した新成人に近況や夢なども語ってもらう、そのようなステージ演出を企画しているところでございます。

また、新成人への記念品でございますが、2件寄贈をいただきました。

1件目は、インサイトアンドカンパニー様から香水「オードトワレ スカーレットイワミザワ」でございます。2件目は、農事組合法人アグリプロ未来で代表は中西洋一さんでございますが、岩見沢産新米の「ゆめぴりか」、1人当たり150gがそれぞれ新成人全員に贈呈される予定でございます。

以上でございます。

## **質疑応答**

### **(プレス空知)**

記念品のスカーレットイワミザワなんですけれども、数年前にも一度寄贈があったかなと思うんですが、その時と同様に女性のためのプレゼントでしょうか、それとも全員になんでしょうか。

### **(市長)**

これは、全員ですね。

### **(プレス空知)**

開催の時間を30分繰り上げた、これは何かねらいというか、目的はありますか。

### **(市長)**

実行委員会の中で、参加者の皆さんから、交流時間をとりたいというのと、早くその後、それぞれの友人と懇談の時間をつくりたいというようなご要望もあつたとお聞きしております。

### **(プレス空知)**

昨年までの参加者の意見を反映してということですか。

### **(市長)**

そうですね。それからどこかに集まるにしろ、いろいろ準備の時間というのも必要とというような声だと思えます。

## 4 「地上デジ広報」の開始について

### 説明内容

#### (市長)

それでは、「地デジ広報の開始」ということでございます。

テレビの地上デジタル放送のデータ放送を利用するという事で、市民の皆さまへの情報伝達を素早く確実に行うことができる、いわゆる「地デジ広報」を来年の1月15日から開始する予定となっております。「暮らしの情報」さらには「災害関連情報」などを、素早く情報発信できるということにもなりまして、パソコンやスマートフォンを所有していない方のためにも、ホームページやメールサービスを閲覧できない高齢者の方などのためにも、ご自宅のテレビで、最新の岩見沢市の情報やお知らせ、あるいは、災害に対する情報などの緊急情報もタイムリーに見られるようにしていきたいと考えているところでございます。

この取り組みでございますが、UHB 北海道文化放送様が北海道 150 年のパートナー事業といたしまして、平成 30 年 1 月から 3 月まで試験運用を無料で行い、4 月から本格運用として有料で開始をするということでございます。

このサービスでは、常時 3 件の情報を画面に表示することができまして、1 件当たり、タイトル 72 文字、本文 180 文字までを表示することができるということでございます。担当職員が情報を入力してから 5 分ないし 10 分で情報が更新をされ、岩見沢エリア内のテレビでは、画面のイメージのとおり、「北海道市町村 地デジ広報」のトップページで見ることができるということでございます。

発信する情報につきましては、市のホームページでお知らせとして掲載しているものを新着順に 3 件発信することを考えておりますが、災害関係の緊急情報につきましては最優先として発信する予定としております。

ちなみに、来年 1 月からサービスを開始する自治体でございますが、岩見沢市をはじめ複数の自治体が、現在導入予定というふうにお聞きをしております。岩見沢市の情報に加えて、このサービスを利用している他の自治体の情報もリモコンを操作して見ることもできるということでございます。

以上でございます。

### 質疑応答

#### (北海道新聞)

他の自治体の情報も見られるということなんですけれども、岩見沢市の市外にいても岩見沢市の情報を見ることが可能なんですか。

#### (市長)

はい、そうです。

#### (プレス空知)

発信情報が 3 件までとのことなんですけど、1 件当たりの情報を地デジ広報でアップしている時間というのは、どのくらいの時間なんでしょうか。

**(市長)**

更新するまでずっとということですね。

**(プレス空知)**

次の4件目が入ってくるまでは、玉突きでどんどん入っていくということですか。

**(秘書課長)**

3件分はずっと岩見沢の情報が入っていて、それはこちらの方で替えたい時に替えてということになると思います。

**(プレス空知)**

NHKのデータニュースで見ると、上からどんどん新しいニュースが入ってきて、玉突きで古いものは落ちていくというふうになっていると思ったものですから、同じようなかたちになっているのかなと思ひまして。

**(市長)**

消したい情報は消して入れ替えることも可能でしょうし、新しい情報を入れて一番古い情報を削除することも可能だと思います。

**(プレス空知)**

例えば、この画面イメージで出ているヒグマの情報ですとか、こういったものは早い段階で出したんだけど、これは残しておきたいと思えば意図的に残して継続して呼びかけていくことは可能だということですね。

**(市長)**

あまりそういう情報が残らないようにしたいと思ひますけれども。

**(プレス空知)**

月3万円という費用は、高いと思っているか、安いと思っているかという意識はどうでしょうか。

**(市長)**

全世帯にほぼテレビは普及していますので、そういった意味では情報伝達のツールとしての活用という意味では、高いという認識はないわけですが。

**(プレス空知)**

この地デジのデータ放送の部分を有効活用するということでは、もう一昨年になりますか、COI事業のからみで、テレビ朝日さんと連携して、健康クイズや安否確認の部分で、大和町会で試験的にというのもあったと思うんですが、今回また、別の局でということなんですけれども、健康福祉部でCOIでやっていたものに、これをさらに追加していくということではなくて、別のものをチョイスしたというのは、何か理由があるのでしょうか。

**(市長)**

それは、UHBさんがこういう企画をつくって持ってこられたということですね。COIは確かHTBさんを中心にデータ放送の活用方法ということで1回実施をやったりしていましたが、それはそれで今後も研究していくことになりますけれども。これは一つのサービスメニューということで、ご提案をいただいて、検討の結果、始めましょうとしたものでございます。



**(北海道新聞)**

発信される情報の内容なんですけれども、災害関連情報はここに上がっているように、クマの出没だったり、雪に関してだと思っんですが、暮らしの情報という内容的にはどういったものになりますか。

**(市長)**

ホームページで、新着情報として更新するようなものを中心に、いろいろセレクトしていくことになるかと思っます。

**(北海道新聞)**

イベント情報とかは対象になるのですか。

**(市長)**

別に載せる情報に制約があるわけではないので、その都度その都度必要なものを掲載していくということにしています。

### 3 その他について（記者からの質問）

#### **質疑応答**

**(プレス空知)**

下水道使用料の関係で、作業の方は今、進めている最中だということで、9月に一度中間報告という話があったんですけども、その後、秋を目途にという話で最終報告させていただきますという話だったんですけども、その辺の作業は今どこまで進んでいるのか、市長は報告を受けていらっしゃるのでしょうか。

**(市長)**

報告は受けています。最終的な確認作業で残っているものがありますが、近いうちに全体がまとまった上で、議会に対して報告をして、正式に報告をしたいということでした。

**(プレス空知)**

近いうちとは言いながらも、年が明けるといことになるかと思っんですが、年が明ける理由というか何が原因だったのでしょうか。

**(市長)**

該当者の方と連絡がまだ取れていないということです。具体的には確か、市外に転出なされていて、その方と直接的な連絡が取れていないというケースが残っているということです。

**(プレス空知)**

それは、具体的に何件ぐらい残っているのですか。今の時点でまだ相当数残っているとか？

**(市長)**

相当数ではないです。

**(プレス空知)**

だいたいどのくらい。10件より多いのか少ないのか？

**(市長)**

それと言えば少ないです。本当の最後の詰めなんです。それが確認できさえすれば、全体がまとまるという状況にはなっているんです。

**(プレス空知)**

その数を含めたとして、最終で全体でどのくらいの件数に上ったんでしょうか。

**(市長)**

それも、議会で正式にご報告するという手順になると思うんですけども。私が報告を受けた段階では30数件というふうに聞いています。

**(プレス空知)**

9月の中間報告の時の数字に、さらに上乘せするということですか。

**(市長)**

上乘せですね。

**(プレス空知)**

これは、やはり議会に報告を上げない限り、ここでは質問しても答えていただくことはできないということですか。

**(市長)**

順序というものがあるものですから。

**(プレス空知)**

最終報告ではないという時点ですけども、市長としてはどう考えていらっしゃるんですか。

**(市長)**

それは、徹底した見直しをやっていきますので、誤っていることについては、速やかに正した上で適切な対応をしていきたいと思っていますし、今後、こういったことが起きないようにリスク管理も含めて、全体の見直し作業も行っておりますので、一つ一つそういったものには、適切に対応していきたいと思えます。

**(プレス空知)**

誰が悪かったからということはないかと思うんですけども、再発を防ぐために、新たに何かシステムとかマニュアルをこういったふうにしていこうというような改善というのは？

**(市長)**

個別ケースで、こういったものが主な要因で発生したのかという分析をしていますので、そういったことが起きないようにチェック体制ですとか、チェックシートですとか、そういった措置については既に、並行して検討しています。また、内部統制といった分野の中でも、当然議論すべき対象になっております。一つ一つ突合して行って、実際にそれが事実かどうかという確認と、そういった事態がいつそういうふうになっているのかという確認作業があるので、時間がかかったのは事実ですけども、年を明けることになると思えますけれども、該当者の方と連絡が付きさえすれば公表できるようなことになるかと思えます。

**(プレス空知)**

チェック体制を同時で並行して進めているということだったんですが、現在進行形で、既に取り入れて行っているという部分もちろんあるということでもいいんですか。

**(市長)**

そうです。担当部署の方で既に取り組んでおります。

**(プレス空知)**

12月の定例記者懇談会ということなので、1年を振り返っていただいて、どうだったのか、新年に向けてどうしていきたいのか、一言いただけますか。

**(市長)**

今年1年は総合戦略の中間年ということで、予算も含めて、予定していたものについては、着実に事業の実施をすることができたかなと思います。人口減少と地域経済の活性化ですけれども、人口減少も中長期的な本当に大きな課題ですけれども、社会減に関していえば、一定程度の抑え込みを今年はできたかなというふうに思っています。地域経済の活性化については、新たなビジネスの創出といったことも出しながらそれぞれ取り組むことができたかなというふうに思っています。来年は、そういったものをより具体化して市民の皆さまにお示しできるような、あるいは、新たな市民の皆さまへのサービスとして展開できるような取り組みをしていきたいなというふうに思っています。予算がかなり厳しい状況なのは間違いないので、スタートラインがマイナス40億円なので、かなり厳しいと思います。

**(プレス空知)**

予算の作成は、どの様な作業を年明けから進めていくのでしょうか。

**(市長)**

個別事業を抜き出して、財政との協議状況を踏まえて、協議をしていくということになります。

**(プレス空知)**

このマイナス40億というのは、29年度当初の予算からの減になりますか。

**(市長)**

来年度やりたいという事業の支出部分の総額と、来年歳入として見込める部分の総額との差が40億くらいのギャップがあります。

**(飯川副市長)**

収支不足が40億くらいあって、今現在、財政課の方でヒアリングをしていて、査定をしていって、年明け早々から市長ヒアリングが始まるということです。

**(市長)**

自分が最初市長になった年は、マイナス20億からのスタートで、去年が実質マイナス30億だったので。今年は、そのギャップがマイナス40億ということでちょっと厳しくなっている。その中で基金の活用も含めて、どのように予算をまとめていくか、仕事をどういうふうにまとめていくかという議論を年明けから本格化をすると。

### **(HBC)**

JR の関係なんですが、先日室蘭線の説明会が岩見沢で行われました。おそらく市長にも届いていると思うんですが、第三者委員会の方から提言書というか、今まで JR との協議が遅いので早くしなさいというような文書がきていると思うんですが、今後室蘭線に関してはどういうふうに、スピード感も含めて協議を進めていくお考えでしょうか。

### **(市長)**

まず、室蘭線の現状を知ってもらおうということで、先日セミナーを開きましたけれど。その後の議論も含めて、初めて JR 貨物さんにも出ていただきましたけれども、室蘭線が地域住民の足であるとともに、北海道内での物流を大きく支えている路線区であるというのは、基本的にお示しいただいたのかなと思います。ただ今、第三者委員会もいろいろご提言とかをされていますし、そのことも含めて、今、知事が石井国交大臣にも新たな支援制度の創設ということで、要望なさっています。今、その状況をどのようなかたちで出てくるかを注視している段階ですね。そのこと抜きにして、ああする、こうするという議論はできないかなという認識をしておりますけれども。従来言われていた上下分離方式ではできないだろうというのは、基本的な認識のベースにはあるんだろうなと思います。私自身もかねてから上下分離は厳しいと、できないというふうな認識は持っていますけれども。

### **(HBC)**

国や道の動きを見ながらということですね。

### **(市長)**

今まで、そういった動きが出てこない中での議論でしたけども、そういった議論が今、出来つつありますから。それについては、十分注視していこうと思います。

### **(プレス空知)**

年明け、1月15日から予定している新しい学校給食での調理なんですけれども、市長として何か期待するものはありますか。

### **(市長)**

安全で安心でおいしい給食の実現ということで、今回は和え物も新たに加わりますし、温かい物は温かい状態で食べられるような工夫もしていますし、アレルギー食の対応ということで、子どもさんと保護者の方のご要望も取り入れた給食を早く実現したいなと思っていますけれども。今、それに向けて必要な作業を鋭意、学校給食の方で行っているということです。

### **(プレス空知)**

安全で安心でおいしい給食の実現、ここに日本一というのは入らないのですか。

### **(市長)**

それは、基本的に変っていないです。目指す方向は日本一です。付け加えるなら子どもたちが喜ぶ給食ですけどね。

**(プレス空知)**

市長の試食や関係者の試食とかといったものについては、15日に何かセレモニーで予定があるのでしょうか。

**(教育部長)**

セレモニーの日で予定しております。

**(プレス空知)**

セレモニーは給食の提供開始当日でいいですか。

**(教育部長)**

15日です。

(注) 記録の内容については、重複した言葉遣いや、明らかな言い直しがあったものなどを整理した上で作成しています。(作成：岩見沢市秘書課広報係)